

県勢主要統計指標

第 4 1 6 号

平成 3 0 年（2 0 1 8 年）1 2 月

大分県企画振興部統計調査課

今月の概要

1 大分県の推計人口(平成30年11月1日現在)

県人口	1,142,443人	(対前月 500人減少)
前1ヵ月間の自然動態	560人減少	(出生者数 750人、死亡者数 1310人)
社会動態	60人増加	(転入者数 2,678人、転出者数 2,618人)

2 県内経済の動向

2-1 主要経済指標の動向

- 1 鉱工業指数 平成30年10月の鉱工業生産指数(季節調整済指数、平成22年=100)は94.6(前月比+2.7%)となり、3か月ぶりに上昇した。
- 2 消費者物価 平成30年10月の大分市消費者物価指数(平成27年=100)は102.8となり、前月に比べ0.4%上昇した。
- 3 大型小売店販売額 平成30年10月の大型小売店販売額は87億59百万円で、前年同月に比べ全店ベースで▲0.5%と4か月連続の減少、既存店ベースで1.0%と3か月連続の増加となった。
- 4 外国貿易 平成30年10月の輸出額は739億33百万円(前年同月比14.9%)で2か月ぶりに増加した。輸入額は1,096億62百万円(同+66.8%)で9か月連続の増加となった。
- 5 公共工事 平成30年11月の県内公共工事請負金額は113億24百万円で、前年同月に比べて+37.9%と2ヶ月連続して増加した。
- 6 新設住宅着工 平成30年10月の新設住宅着工戸数は648戸で、前年度同月比▲2.3%と2か月連続して減少した。内訳では持家、分譲住宅が増加した。
- 7 企業倒産 平成30年11月の県内企業倒産は、件数が7件(前年同月比250.0%)、負債総額が1,424百万円(同2,638.5%)となった。
- 8 職業紹介 平成30年10月の有効求人倍率(季節調整値)は、前月を0.06ポイント低下し、1.53倍となった。

2-2 景気動向指数(DI)(平成30年10月分)

先行指数	40.0%	(4か月連続して50%を下回った)
一致指数	57.1%	(2か月ぶりに50%を上回った)
遅行指数	57.1%	(3か月連続して50%を上回った)

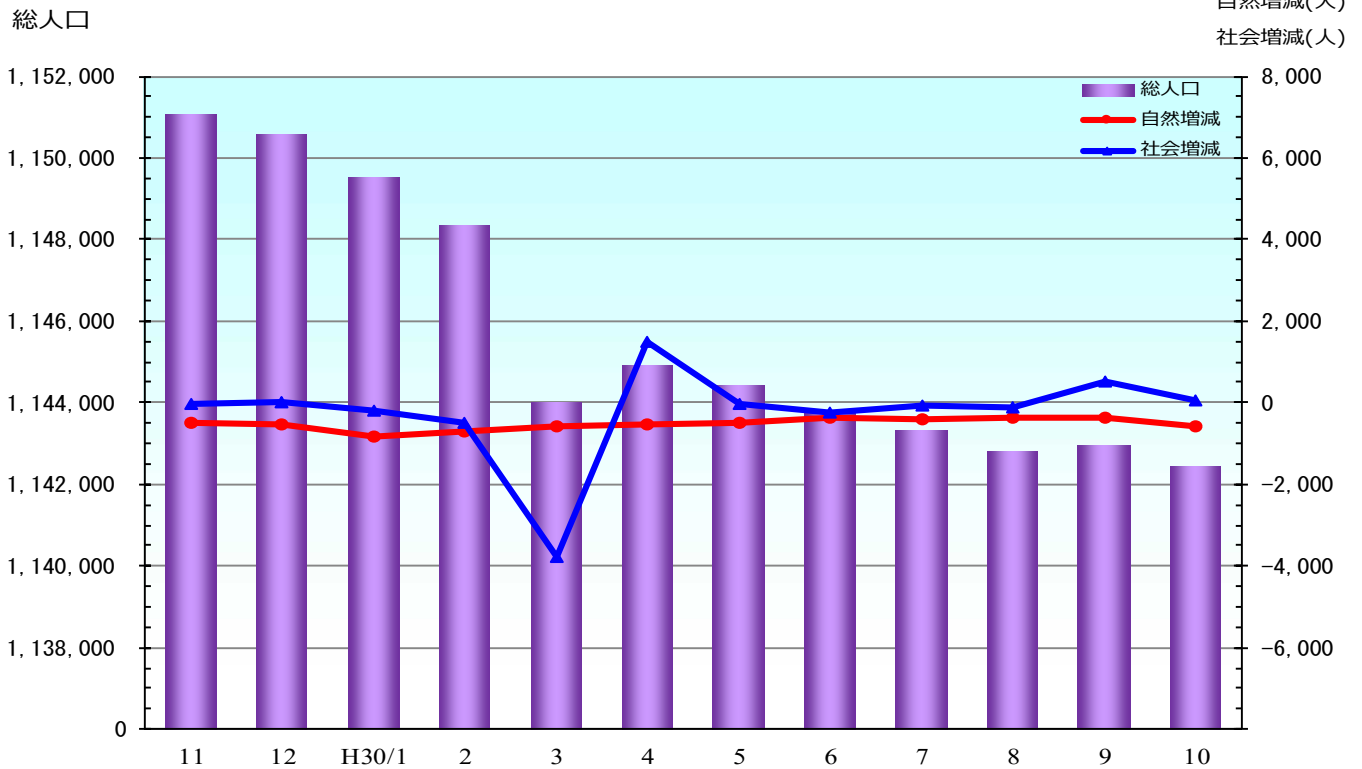
指標一覧・目次

番号	指標名	大分県	全国	頁
1	大分県の推計人口	(平成 30 年 11 月 1 日現在) 1,142,443 人 (前月比 ▲500 人 ▲0.04%) (前年同月比 ▲9,136 人 ▲0.79%)	(平成 30 年 11 月 1 日現在) 1 億 2,645 万人 (前月比 1 万人 +0.01%) (前年同月比 ▲27 万人 ▲0.21%)	1
2-1-1	鉱工業指数	(平成 30 年 10 月) 生産指数(季節調整済指数)94.6 (前月比 +2.7%) (原指数 前年同月比 +3.6%)	(平成 30 年 10 月) 生産指数(季節調整済指数)105.9 (前月比 +2.9%) (原指数 前年同月比 +4.2%)	2
2-1-2	消費者物価	大分市(平成 30 年 10 月) 総合指数 102.8 (前月比 +0.4%) (前年同月比 +1.6%)	(平成 30 年 10 月) 総合指数 102.0 (前月比 +0.3%) (前年同月比 +1.4%)	3
2-1-3	大型小売店販売額	(平成 30 年 10 月) 総額 8,759 百万円 (前年同月比 (全店) ▲0.5%) (前年同月比 (既存店) +1.0%)	(平成 30 年 10 月) 総額 1,586,182 百万円 (前年同月比 (全店) ▲0.2%) (前年同月比 (既存店) ▲0.8%)	4
2-1-4	外国貿易	(平成 30 年 10 月) 輸出総額 73,933 百万円 (前年同月比 +14.9%) 輸入総額 109,662 百万円 (前年同月比 +66.8%)	(平成 30 年 10 月) 輸出総額 7,243,875 百万円 (前年同月比 +8.2%) 輸入総額 7,694,006 百万円 (前年同月比 +19.9%)	5
2-1-5	公共工事	(平成 30 年 11 月) 総額 11,324 百万円 (前年度同月比 +37.9%) (前年度同期比 +0.6%)	(平成 30 年 11 月) 総額 818,855 百万円 (前年度同月比 ▲5.2%) (前年度同期比 ▲0.2%)	6
2-1-6	新設住宅着工	(平成 30 年 10 月) 着工戸数 648 戸 (前年度同月比 ▲2.3%) (前年度同期比 +8.0%)	(平成 30 年 10 月) 着工戸数 83,330 戸 (前年度同月比 +0.3%) (前年度同期比 ▲0.9%)	7
2-1-7	企業倒産	(平成 30 年 11 月) 件数 7 件 (前年同月比 +250.0%) 負債総額 1,424 百万円(+2,638.5%)	(平成 30 年 11 月) 件数 718 件(前年同月比+6.05%) 負債総額 1,213 億円 (同▲16.7%)	8
2-1-8	職業紹介	(平成 30 年 10 月) 有効求人倍率 1.53 倍 (前月差 ▲0.06 ポイント) (前年同月差 +0.09 ポイント)	(平成 30 年 10 月) 有効求人倍率 1.62 倍 (前月差 ▲0.02 ポイント) (前年同月差 +0.07 ポイント)	9
2-2	景気動向指数(DI)	(平成 30 年 10 月) 一致指数 57.1% 2 か月ぶりに 50%を上回った	(平成 30 年 10 月) 一致指数 87.5% 2 ヶ月ぶりに 50%を上回った	11

1 大分県の推計人口

平成30年11月1日現在の本県の推計総人口は1,142,443人で、前月に比較して500人減少した。前月との増減要因をみると、自然動態で560人の減少、社会動態で60人の増加となっている。

大分県の人口、人口動態の推移



(注) 総人口は翌月の1日現在

単位: 人、世帯

毎月	総人口	1ヵ月間の人口動態							世帯数
		人口増減	自然動態			社会動態			
			出生	死亡	自然増減	転入	転出	社会増減	
H29/10	1,151,579	-274	752	1,232	-480	2,503	2,297	206	491,647
11	1,151,065	-514	742	1,246	-504	2,003	2,013	-10	491,583
12	1,150,549	-516	724	1,275	-551	2,251	2,216	35	491,434
H30/1	1,149,529	-1,020	757	1,589	-832	2,184	2,372	-188	491,106
2	1,148,343	-1,186	694	1,399	-705	2,123	2,604	-481	490,702
3	1,143,976	-4,367	656	1,252	-596	6,945	10,716	-3,771	490,425
4	1,144,909	933	602	1,138	-536	6,563	5,094	1,469	492,468
5	1,144,397	-512	746	1,223	-477	2,604	2,639	-35	492,726
6	1,143,795	-602	636	1,012	-376	2,103	2,329	-226	492,672
7	1,143,305	-490	707	1,115	-408	2,609	2,691	-82	492,633
8	1,142,804	-501	735	1,114	-379	2,782	2,904	-122	492,706
9	1,142,943	139	642	1,015	-373	3,085	2,573	512	493,343
10	1,142,443	-500	750	1,310	-560	2,678	2,618	60	493,228
この1年間の計		-9,136	8,391	14,688	-6,297	37,930	40,769	-2,839	—

(注) 総人口は翌月の1日現在

注)人口及び世帯数は、平成27年国勢調査による確定人口及び世帯数を基にした当該月の翌月1日現在の推計値です。

資料：県統計調査課「大分県の人口推計結果【月報】平成30年10月分」

2-1-1 鉱工業指数

平成30年10月の大分県鉱工業生産指数（季節調整済指数）は94.6（前月比+2.7%）となり、3か月ぶりに上昇した。前月に比べ上昇した業種は「電子部品・デバイス工業」、「窯業・土石製品工業」、「食料品工業」等の9業種で、低下した業種は「電気・情報通信機械工業」、「繊維工業」、「パルプ・紙・紙加工品工業」等の5業種となっている。

区 分		季節調整済指数		原 指 数	
			前月比 (%)		前年同月 比 (%)
大分県	生産	94.6	2.7	98.2	3.6
	出荷	93.7	6.6	97.2	12.5
	在庫	87.6	▲ 10.7	89.9	▲ 5.7
九州	生産	109.1	2.6	113.8	4.5
	出荷	108.2	5.0	112.4	6.2
	在庫	97.5	▲ 3.4	100.0	1.8
全 国	生産	105.9	2.9	109.4	4.2
	出荷	104.6	3.5	107.2	5.7
	在庫	101.3	▲ 1.3	102.2	▲ 0.7

大分県の指数は平成22年=100

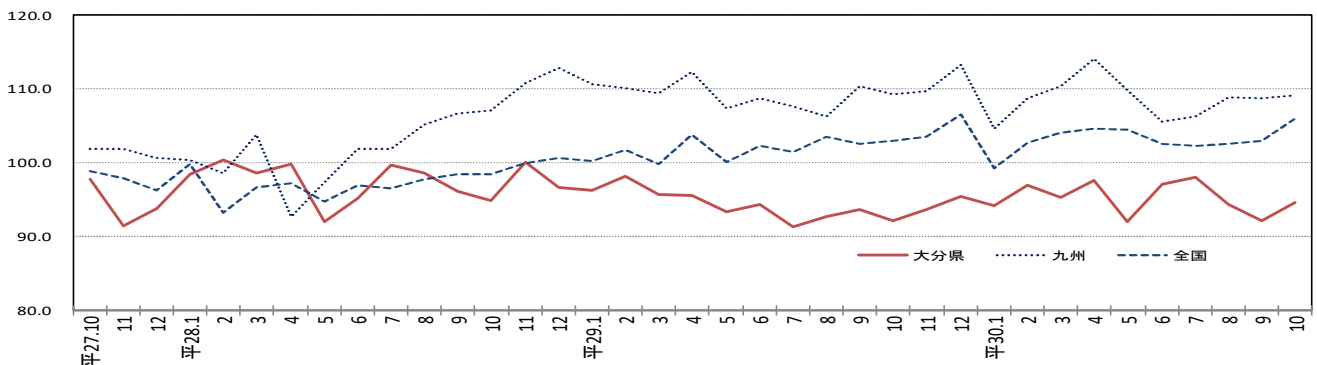
※九州、全国の指数は平成27年=100

※九州は速報値

資料：経済産業省「鉱工業生産・出荷・在庫指数確報」、県統計調査課

鉱工業生産指数（季節調整済指数）の推移

平成22年=100

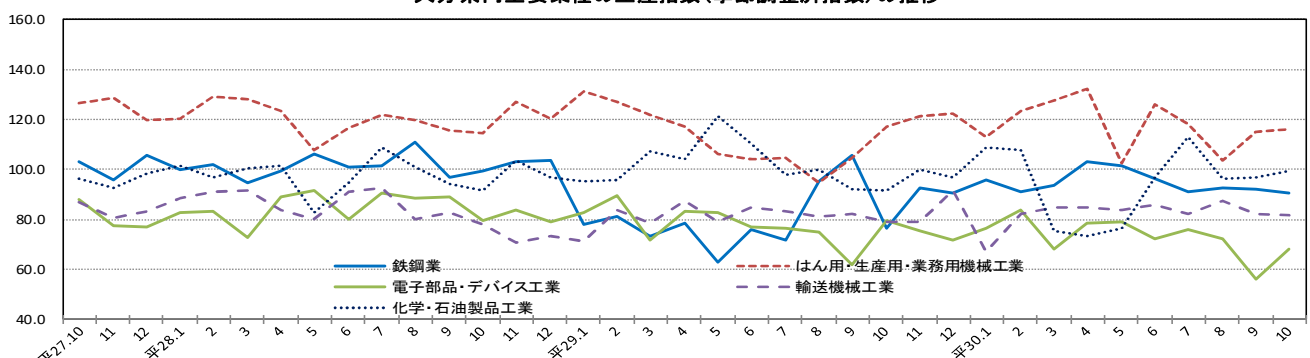


○業種別動向（生産指数）

上昇業種			低下業種		
業種名	前月(%)	寄与率(%)	業種名	前月比(%)	寄与率(%)
電子部品・デバイス工業	21.6	56.8	電気・情報通信機械工業	▲3.3	▲1.5
窯業・土石製品工業	8.3	12.3	繊維工業	▲21.5	▲1.3
その他工業	3.8	3.9	パルプ・紙・紙加工品工業	▲5.4	▲3.1

大分県内主要業種の生産指数（季節調整済指数）の推移

平成22年=100



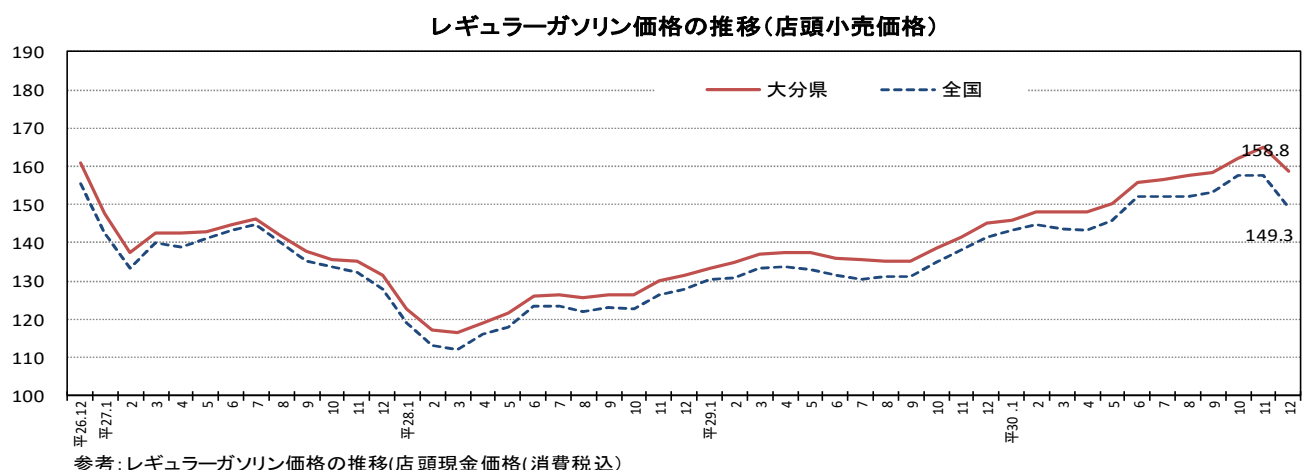
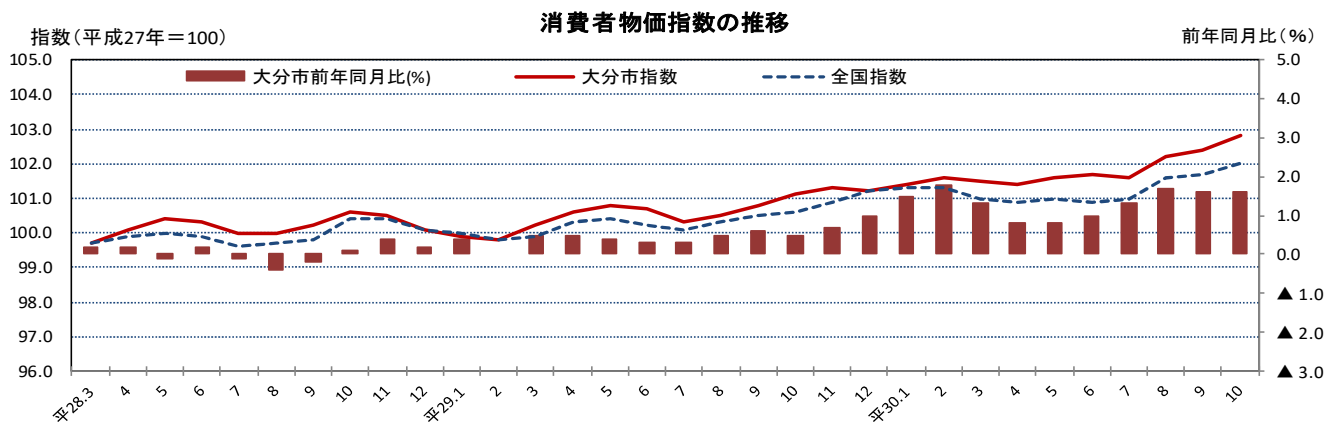
2-1-2 消費者物価

平成30年10月の大分市消費者物価指数は、平成27年を100としたとき102.8となり、前月に比べ0.4%上昇した。これを10大費目別にみると、「食料」が果物の値上がりなどにより0.4%上昇し、「保険医療」が医薬品・健康保持用摂取品の値下がりなどにより0.6%下落したことなどによる。

(平成27年=100)

費目	大分市				全国		
	ウェイト	平成30年10月指数	前月比(%)	前年同月比(%)	平成30年10月指数	前月比(%)	前年同月比(%)
総合	10,000	102.8	0.4	1.6	102.0	0.3	1.4
生鮮食品を除く総合	9,617	102.3	0.3	1.3	101.6	0.3	1.0
生鮮食品及びエネルギーを除く総合	8,828	101.8	0.2	0.6	101.4	0.2	0.4
食料(酒類を除く)及びエネルギーを除く総合	6,703	100.8	0.2	0.1	100.7	0.3	0.2
食料	2,625	106.2	0.4	3.2	104.6	0.0	2.4
生鮮食品	383	113.3	2.3	10.4	111.6	△0.3	10.8
住居	1,896	100.5	0.0	0.0	99.6	0.0	△0.2
光熱・水道	703	101.3	0.4	3.0	100.6	0.8	4.4
家具・家事用品	355	100.8	0.1	△1.6	98.1	1.0	△1.0
被服及び履物	412	101.0	0.0	△0.3	104.2	0.5	0.1
保健医療	379	103.2	△0.6	0.6	104.0	△0.1	1.1
交通・通信	1,772	101.3	0.6	2.7	100.3	0.5	1.9
教育	238	103.4	0.0	△0.1	102.8	0.0	0.5
教養娯楽	961	102.9	1.2	1.0	103.3	0.9	1.4
諸雑費	659	102.5	0.8	0.9	102.0	0.8	0.8

資料：総務省「消費者物価指数月報」、県統計調査課



2-1-3 大型小売店販売額

平成 30 年 10 月の県内大型小売店販売額は 87 億 59 百万円、前年同月比は全店ベースで▲0.5%と 4 か月連続の減少、既存店ベースで 1.0%と、こちらは 3 か月連続の増加となった。

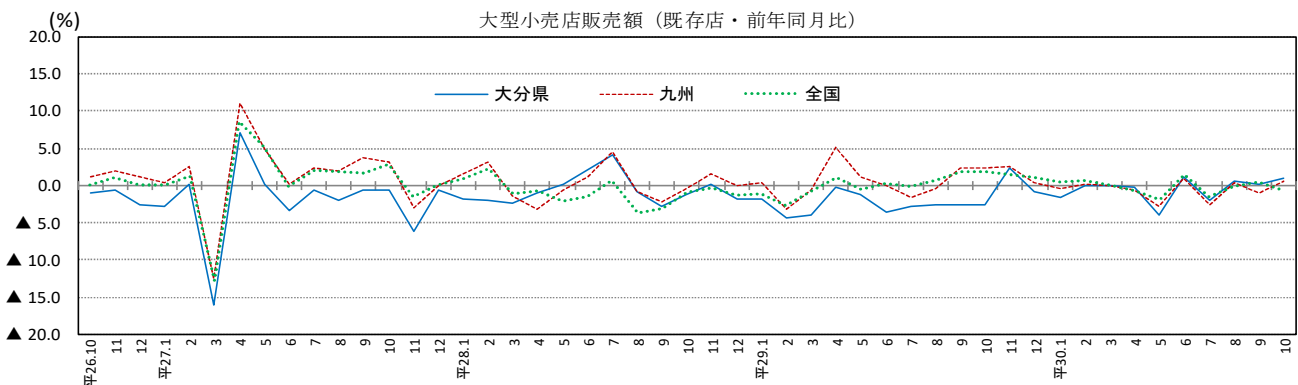
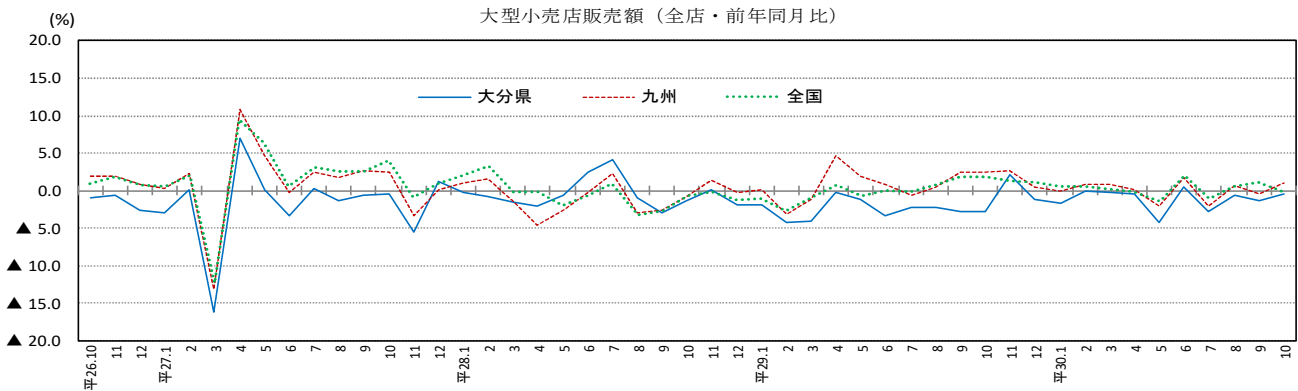
地域別 商品別	大分県			全国		
	百貨店	スーパー	計	百貨店	スーパー	計
	3店	27店	30店	225店	4,967店	5,192店
	販売額 (百万円)	前年同月比 (%)		販売額 (百万円)	前年同月比 (%)	
全店		既存店	全店		既存店	
総額	8,759	▲0.5	1.0	1,586,182	▲0.2	▲0.8
衣料品	2,807	0.0	1.2	333,551	▲3.6	▲2.7
飲食料品	4,408	0.2	2.2	930,311	1.2	▲0.2
その他	1,545	▲3.3	▲2.8	322,320	▲0.3	▲0.6

資料：経済産業省「商業動態統計」（平成 30 年 10 月分確報）

注 1：「百貨店」は、注 2 の「スーパー」を除き、売り場面積が特別区及び政令指定都市では 3,000 m²以上、その他の地域では 1,500 m²以上

注 2：「スーパー」は、売り場面積の 50%以上でセルフサービス方式、かつ売り場面積が 1,500 m²以上

注 3：「その他」は、家具、家電、家庭用品、食堂・喫茶など



○参考 コンビニエンスストアの動向（全店）（平成 30 年 10 月）

	大分県	九州	全国
店舗数	501	6,138	56,401
（前年同月比） (%)	2.2	2.1	0.0
商品販売額及びサービス売上高（百万円）	8,431	108,041	998,606
（前年同月比） (%)	0.8	0.0	0.0

資料：経済産業省「商業動態統計」、九州経済産業局「九州コンビニエンス・ストア販売動向」

（平成 30 年 10 月分確報）

注：調査対象は一定規模以上のコンビニエンスストアのチェーン企業本部。平成 25 年 1 月分から平成 28 年 8 月分までは「九州」には沖縄を含まない。平成 28 年 9 月分から沖縄を含む。平成 27 年 7 月分から既存店を廃止した。

2-1-4 外国貿易

平成30年10月の輸出額は739億33百万円（前年同月比+14.9%）で2か月ぶりのプラスとなった。有機化合物、銅及び同合金、鉄鋼、船舶類などが増加し、事務用機器、映像機器などが減少した。輸入額は1,096億62百万円（同+66.8%）で9か月連続のプラスとなった。銅鉱が全増、原油及び粗油、揮発油などが増加し、液化天然ガス、石炭などが減少した。

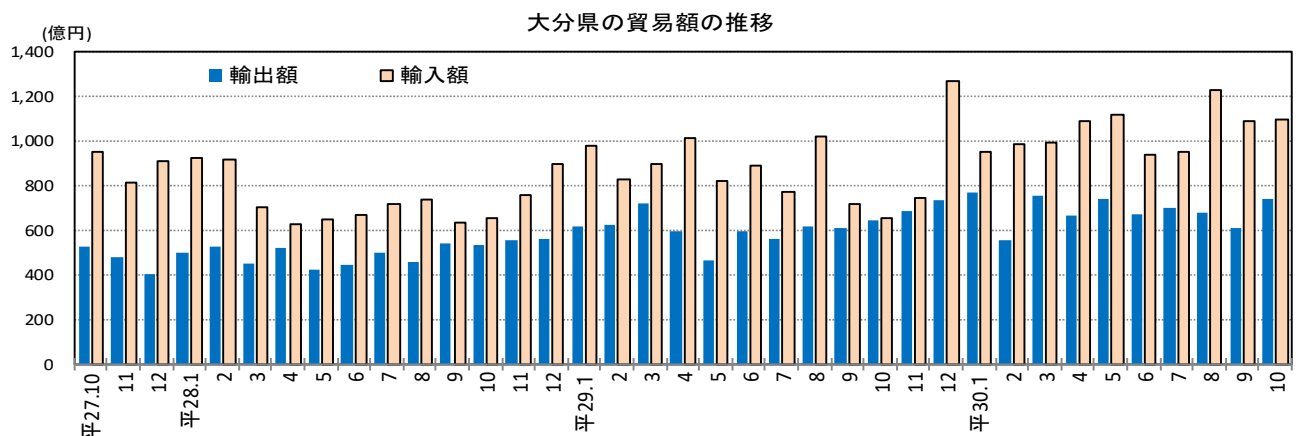
（10月分速報）

（単位：百万円、%）

区分	輸 出				輸 入			
	主要品目等	30年10月 価 額	前 年 同月比	前 年 同期比	主要品目等	30年10月 価 額	前 年 同月比	前 年 同期比
大分県	総額	73,933	14.9	13.6	総額	109,662	66.8	21.4
大分港	有機化合物	13,695	37.5	▲13.1	鉄鉱石	19,611	17.7	▲3.4
	プラスチック	713	▲0.7	▲21.1	銅鉱	16,588	全増	33.5
	鉄鋼	18,431	47.3	11.3	石炭	12,523	▲22.0	▲1.5
	銅及び同合金	8,731	28.0	32.7	原油及び粗油	33,891	473.1	108.6
	事務用機器	7,816	▲32.8	2.6	揮発油	12,553	84.8	7.3
	映像機器	9,214	▲15.7	164.8	液化石油ガス	4,114	29.7	45.8
	船舶類	—	全減	▲23.5	液化天然ガス	4,483	▲48.7	11.0
	計	65,859	4.0	15.6	計	109,018	68.5	21.3
佐伯港	船舶類	4,139	全増	▲13.6	石こう	49	22.4	10.6
	魚介類	—	—	90.9	植物性油かす	230	105.9	24.3
	木材	58	▲35.7	30.0	植物性原材料	—	—	全増
	荷役機械	—	—	7.8	船舶類	—	—	全増
					魚介類	3	▲78.9	10.9
					一般機械	—	全減	228.7
					金属製品	—	全減	223.6
	計	4,197	4516.2	▲10.6	計	305	10.4	77.7
津久見港	船舶類	3,300	全増	▲2.5	石炭	—	全減	▲14.4
	セメント	537	▲37.8	▲17.5	石油コークス	336	▲3.1	▲1.4
	石灰石	36	▲61.3	▲31.1	アルコール飲料	2	全増	11.6
	計	3,877	305.8	▲6.3	計	339	▲55.5	▲10.5
大分空港	再輸出品	—	—	全減	輸送用機器	—	—	全減
					電気計測機器	—	—	全増
	計	—	—	全減	計	—	全減	▲88.5
全国	総額	7,243,875	8.2	5.4	総額	7,694,006	19.9	10.3

資料：財務省「貿易統計（輸出確報；輸入速報）」、大分税関支署「管内貿易概況」（平成30年10月分）

注）「前年同期比」は、暦年（1～12月）累計の比較（増減率）



2-1-5 公共工事

平成30年11月の県内公共工事請負金額は113億24百万円で、前年度同月に比べて37.9%のプラスとなり、2か月連続して増加した。発注者別では、国が前年度同月に比して77.8%、独立行政法人等が95.4%、大分県が49.1%、市町村が20.5%、その他の公共的団体が192.0%増加した。

(単位:百万円、%)

項目 発注者	大分県				全 国			
	30年 11月	前年度 同月比	30年度 累 計	前年度 同期比	30年 11月	前年度 同月比	30年度 累 計	前年度 同期比
総 額	11,324	37.9	105,532	0.6	818,855	▲ 5.2	10,593,148	▲ 0.2
国	488	77.8	13,693	▲ 16.1	109,329	7.0	1,605,297	0.8
独立行政法人等	120	95.4	4,470	▲ 61.3	60,365	▲ 15.9	1,257,824	4.7
都道府県	4,917	49.1	44,634	19.9	289,387	▲ 5.5	3,129,901	2.8
市町村	5,320	20.5	34,665	1.3	316,648	▲ 6.2	3,991,730	▲ 2.7
その他の公共的団体	478	192.0	8,056	44.3	43,125	▲ 5.3	608,375	▲ 8.9

注1:「この統計は、公共工事の前払金保証を集計した業務統計であり、公共工事のほとんどをカバーしている。」(西日本建設業保証(株))

注2:「独立行政法人等」には独立行政法人のほか、各高速道路(株)、国立大学法人、大学共同利用機関法人、特殊法人等を含む。

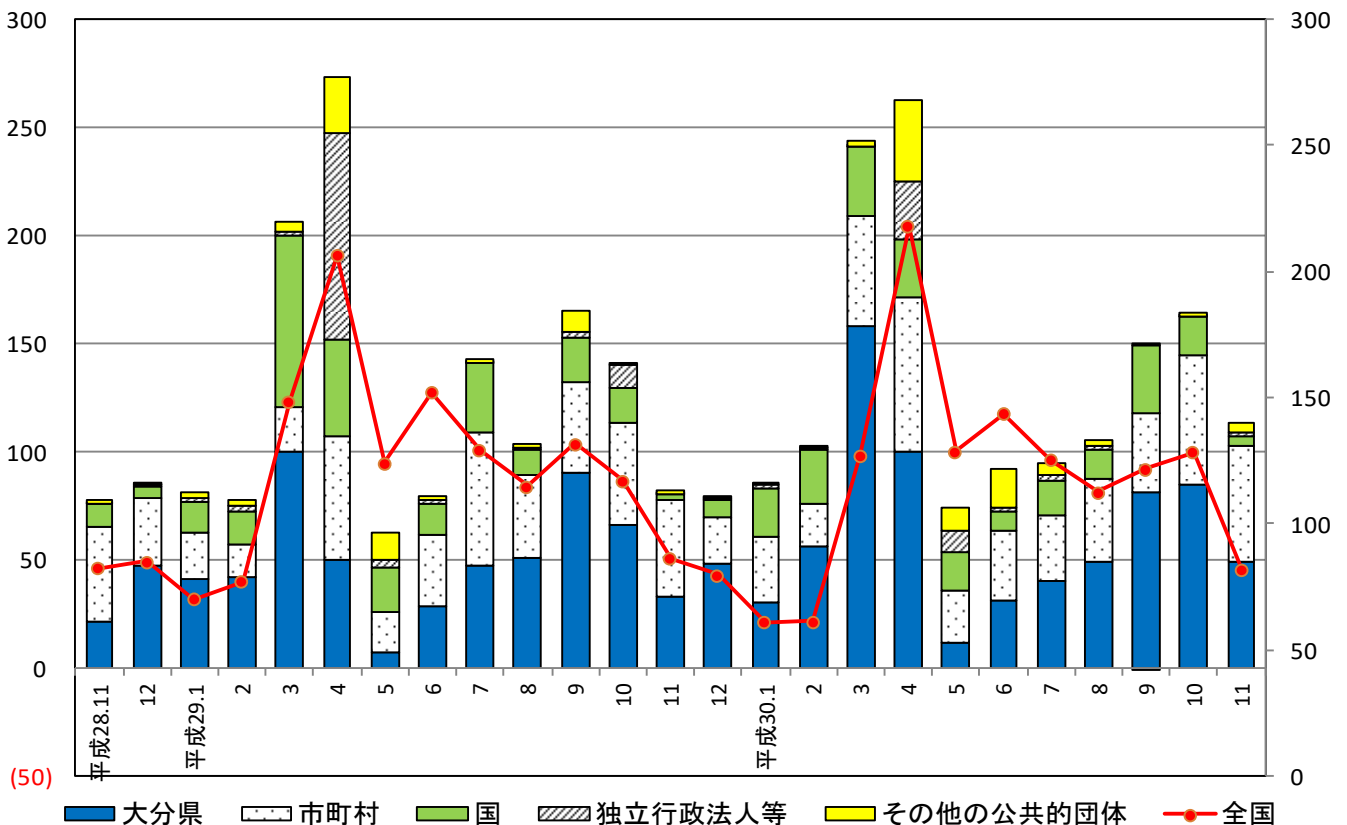
注3:「前年度同期比」は、年度(4月~翌年3月)累計の比較(増減率)

注4:「30年度累計」及び「前年度同期比」は、統計調査課で計算

大分県内(億円)

大分県内の公共工事請負額の推移

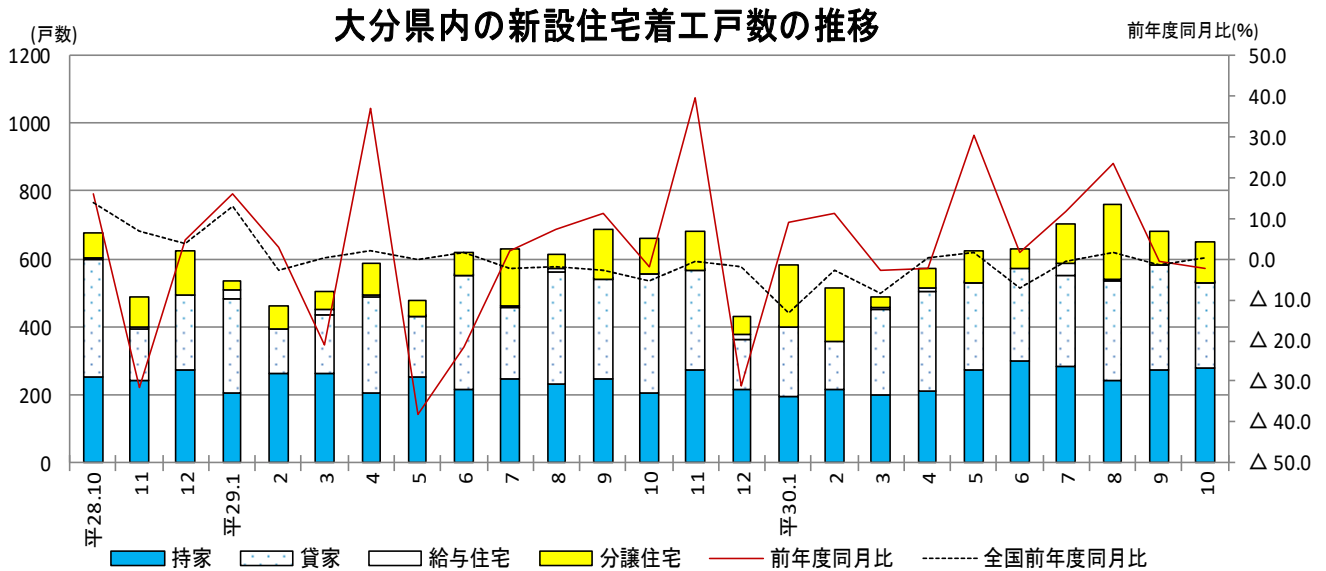
全国(百億円)



2-1-6 新設住宅着工

平成 30 年 10 月の新設住宅着工戸数は 648 戸で、前年度同月に比べ▲2.3%と 2 か月連続して減少した。内訳は、持家 281 戸(同 37.1%)、貸家 248 戸(同▲28.9%)、分譲住宅 117 戸(同 8.3%)などであった。

(単位：戸、%)



○ 市町村別新設住宅着工戸数（30年10月）

(単位：戸数)

	持家	貸家	給与住宅	分譲住宅	計
大分市	128	129	0	106	363
別府市	21	53	0	2	76
中津市	27	21	0	2	50
日田市	13	1	0	1	15
佐伯市	14	0	1	1	16
臼杵市	6	0	0	0	6
津久見市	5	0	0	0	5
竹田市	2	3	0	0	5
豊後高田市	7	2	0	1	10
杵築市	7	0	0	0	7
宇佐市	11	13	1	2	27
豊後大野市	5	0	0	0	5
由布市	15	0	0	0	15
国東市	4	0	0	0	4
姫島村	0	0	0	0	0
日出町	12	18	0	2	32
九重町	1	8	0	0	9
玖珠町	3	0	0	0	3
県計	281	248	2	117	648

資料：県建築住宅課

注：国土交通省と県建築住宅課発表の数値は、データ読み取り方法により異なる場合がある。

2-1-7 企業倒産

平成30年11月の県内企業倒産は、件数7件（前年同月比+5件）、負債総額14億2,400万円（同13億7,200万円増）となった。業種は製造業3件、サービス業・その他2件、小売業、建設業各1件。負債10億円を超える大型倒産は1件で、個人企業の倒産はなかった。集計に加えない負債1,000万円未満の倒産もなかった。

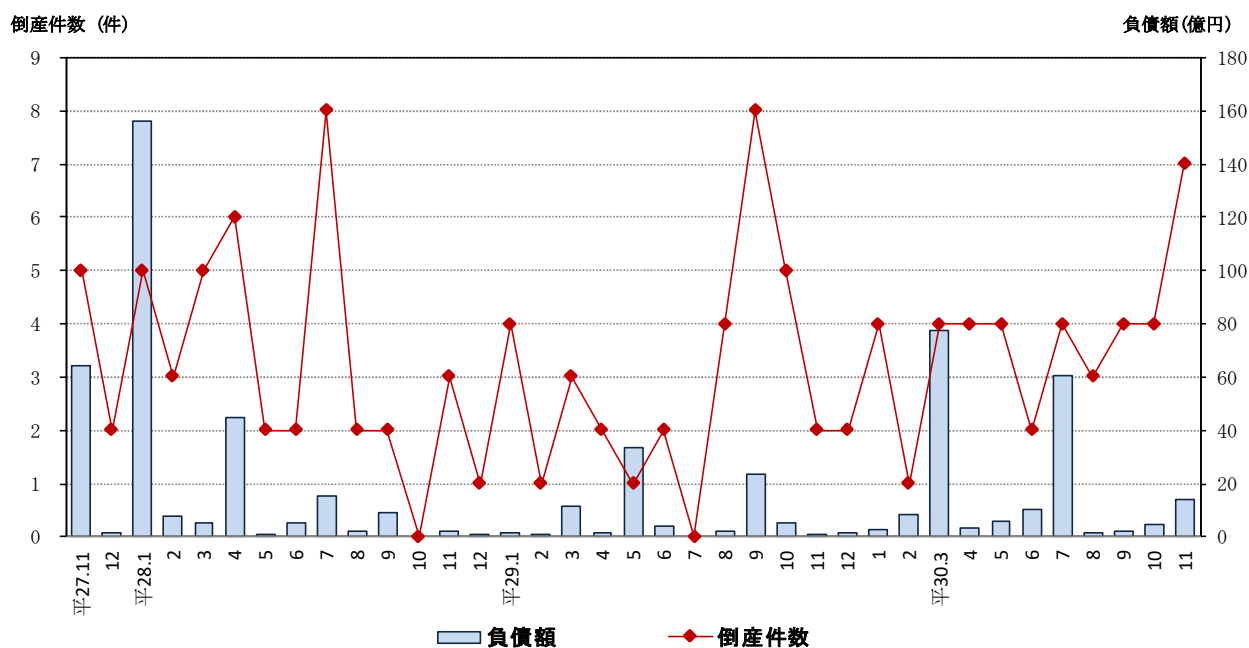
（単位：件、百万円、%）

	倒産 件数	負債 金額	1件当り 負債金額	原因別							
				放漫経営		販売不振		連鎖		その他	
				件数	負債額	件数	負債額	件数	負債額	件数	負債額
平成25	58	13,216	228	4	3,088	30	3,668	6	442	18	6,018
26	42	7,895	188	1	30	17	1,369	4	2,150	20	4,346
27	61	16,689	274	4	253	25	4,449	8	911	24	11,076
28	39	24,842	637	3	5,021	22	18,471	1	22	13	1,328
29	34	8,556	252	3	1,368	15	2,078	3	200	13	4,910
対前年比	▲12.8	▲65.6	▲60.5	0.0	▲72.8	▲31.8	▲88.7	200.0	809.1	0.0	269.7
29/11	2	52	26	-	-	-	-	1	10	1	42
12	2	175	88	-	-	-	-	-	-	2	175
30/1	4	289	72	-	-	3	89	-	-	1	200
2	1	848	848	-	-	1	848	-	-	0	0
3	4	7,765	1,941	-	-	-	-	-	-	4	7,765
4	4	306	77	-	-	1	206	1	59	2	41
5	4	572	143	-	-	-	-	-	-	4	572
6	2	1,010	505	1	54	1	956	-	-	0	0
7	4	6,038	1,510	1	10	2	5,991	-	-	1	37
8	3	175	58	1	41	-	-	1	91	1	43
9	4	221	55	-	-	2	134	-	-	2	87
10	4	454	114	-	-	2	91	-	-	2	363
11	7	1,424	203	-	-	4	371	2	47	1	1,006
対前月比	75.0	213.7	79.2	-	-	100.0	307.7	-	-	▲50.0	177.1
対前年同月比	250.0	2638.5	682.4	-	-	-	-	100.0	370.0	0.0	2295.2

資料：東京商工リサーチ大分支部「大分県企業倒産状況」（負債総額1000万円以上）

注）「対前年比」、「対前月比」及び「対前年同月比」は増減率

大分県内企業倒産件数、負債額の推移



2-1-8 職業紹介

平成30年10月の有効求人倍率（季節調整値）は1.53倍で、前月を0.06ポイント下回り、2か月連続して低下するも過去3番目の倍率。正社員有効求人倍率（原数値）は1.27倍で、前年同月を0.15ポイント上回った。

（単位：人、件、倍、%、ポイント）

			大 分 県			全 国		
			30年10月	前月比(差)	前年同月比(差)	30年10月	前月比(差)	前年同月比(差)
一般（新規学卒者を含む） パートタイム	求職	新規求職申込件数	4,692	11.1	0.4	422,089	19.7	3.0
		月間有効求職者数	17,627	3.2	▲ 4.8	1,712,073	3.0	▲ 3.2
	求人	新規求人数	10,425	12.8	0.1	1,070,360	14.9	4.6
		月間有効求人数	27,858	3.5	1.6	2,838,709	4.0	1.4
	求人倍率	新規求人倍率	2.03	▲ 0.19	0.02	2.40	▲ 0.10	0.05
		有効求人倍率	1.53	▲ 0.06	0.09	1.62	▲ 0.02	0.07
就職件数		2,118	14.5	▲ 6.4	140,718	14.3	▲ 3.5	
正社員	常用フルタイム有効求職者数		10,642	2.7	▲ 6.7	1,094,115	2.6	▲ 5.0
	正社員新規求人数		4,847	7.9	▲ 1.1	461,535	11.8	6.1
	正社員有効求人数		13,490	2.0	5.4	1,263,444	3.4	3.8
	正社員有効求人倍率		1.27	▲ 0.01	0.15	1.15	0.00	0.09
	正社員就職件数		945	7.9	▲ 5.5	63,203	15.3	▲ 3.7

資料：厚生労働省職業安定局、大分労働局

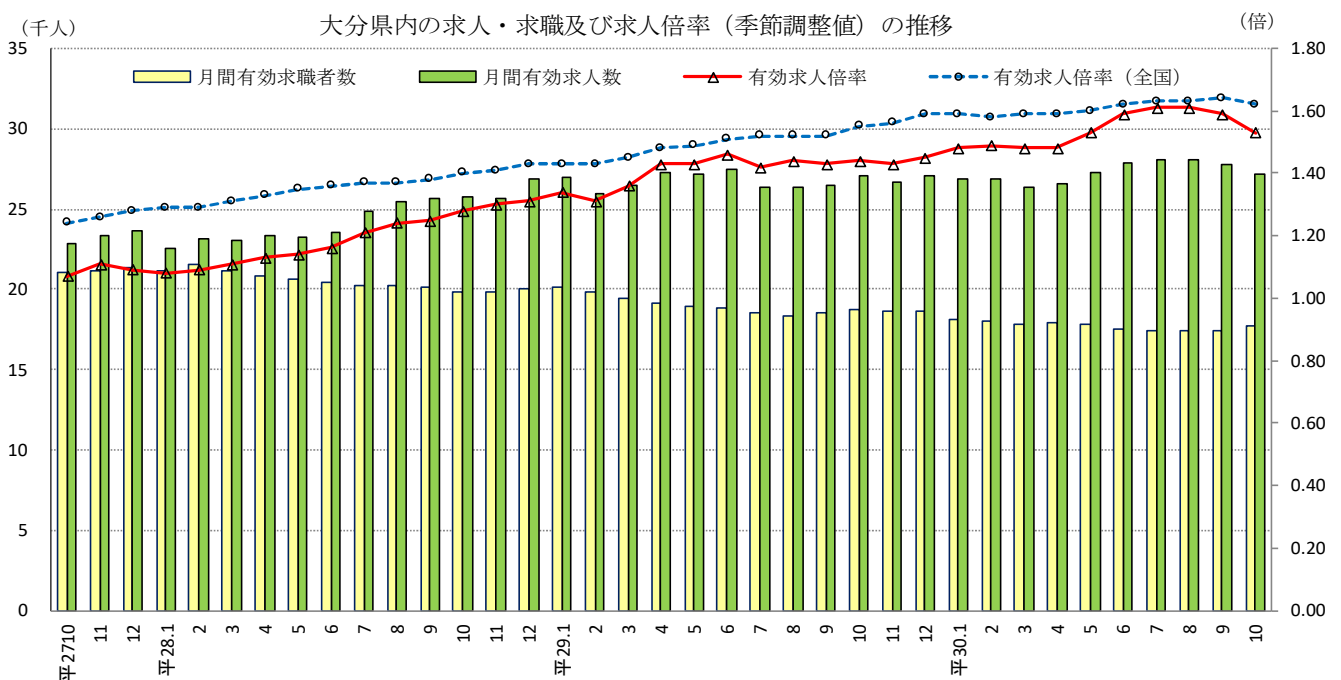
注1：新規求人倍率 = 新規求人数 ÷ 新規求職申込件数

注2：有効求人倍率 = 月間有効求人数 ÷ 月間有効求職者数

注3：「一般」において新規求人倍率・有効求人倍率は「季節調整値」、その他は「原数値」

注4：「正社員」に関する数値はすべて「原数値」

注5：正社員有効求人倍率 = 正社員有効求人数 ÷ 常用フルタイム有効求職者数 0



安定所別月間有効求人倍率の推移

年度 月	大分	別府	中津	日田	佐伯	宇佐	豊後 大野	大分県 原数値	(単位:倍)		(単位:%)	
									大分県	全国	完全失業率	
										大分県	全国	
25	0.81	0.66	0.78	0.93	0.81	0.86	1.05	0.80	0.80	0.97	3.8	4.0
26	0.95	0.85	0.95	0.87	0.94	1.06	1.17	0.94	0.94	1.11	3.3	3.6
27	1.10	1.00	0.97	0.99	1.06	1.18	1.26	1.07	1.07	1.23	2.9	3.4
28	1.36	1.07	1.07	1.16	1.18	1.38	1.40	1.25	1.25	1.39	2.6	3.1
29	1.61	1.15	1.40	1.31	1.39	1.59	1.30	1.45	1.45	1.54	2.4	2.8

29.10	1.66	1.12	1.57	1.31	1.52	1.55	1.16	1.48	1.44	1.55	2.4	2.8
11	1.65	1.12	1.65	1.31	1.57	1.64	1.38	1.51	1.45	1.56		2.7
12	1.70	1.29	1.61	1.41	1.68	1.94	1.43	1.60	1.46	1.59		2.7
30.1	1.69	1.29	1.51	1.35	1.60	1.78	1.41	1.56	1.48	1.59	2.2	2.4
2	1.76	1.30	1.45	1.40	1.55	1.61	1.32	1.57	1.49	1.58		2.5
3	1.76	1.19	1.43	1.38	1.39	1.45	1.27	1.52	1.48	1.59	2.5	
4	1.64	1.13	1.36	1.31	1.25	1.23	1.15	1.41	1.48	1.59	2.2	2.5
5	1.62	1.07	1.46	1.28	1.37	1.32	1.19	1.41	1.53	1.60		2.2
6	1.68	1.13	1.56	1.43	1.47	1.40	1.30	1.49	1.59	1.62	2.4	
7	1.75	1.20	1.52	1.49	1.44	1.43	1.46	1.54	1.61	1.63	2.3	2.5
8	1.83	1.25	1.45	1.52	1.42	1.45	1.37	1.58	1.61	1.63		2.4
9	1.83	1.23	1.46	1.53	1.44	1.41	1.33	1.58	1.59	1.64	2.3	
10	1.83	1.19	1.53	1.49	1.46	1.55	1.32	1.58	1.53	1.62	2.4	

九州・沖縄八県別有効求人倍率の推移

	(単位:倍)				
	30年10月	30年9月	29年10月	前月差 (ポイント)	前年同月差 (ポイント)
福岡県	1.58	1.60	1.56	▲ 0.02	0.02
佐賀県	1.29	1.33	1.26	▲ 0.04	0.03
長崎県	1.26	1.27	1.21	▲ 0.01	0.05
熊本県	1.65	1.69	1.64	▲ 0.04	0.01
大分県	1.53	1.59	1.44	▲ 0.06	0.09
宮崎県	1.46	1.50	1.42	▲ 0.04	0.04
鹿児島県	1.35	1.35	1.23	0.00	0.12
沖縄県	1.17	1.25	1.14	▲ 0.08	0.03
九州平均	1.45	1.48	1.40	▲ 0.03	0.05
全国	1.62	1.64	1.55	▲ 0.02	0.07

資料：厚生労働省職業安定局、大分労働局「一般職業紹介状況」、総務省統計局「労働力調査」

注1：有効求人倍率の各年度は原数値。各月は季節調整値。なお、平成28年12月以前の数値は新季節指数により改訂されている。

注2：九州平均は、九州各県の有効求人数(季調値)の合計を有効求職者数(季調値)の合計で除したものの。

注3：完全失業率の推移は年。全国の月分は季節調整値。大分県の期分は、モデル推計値(総務省統計局公表)。

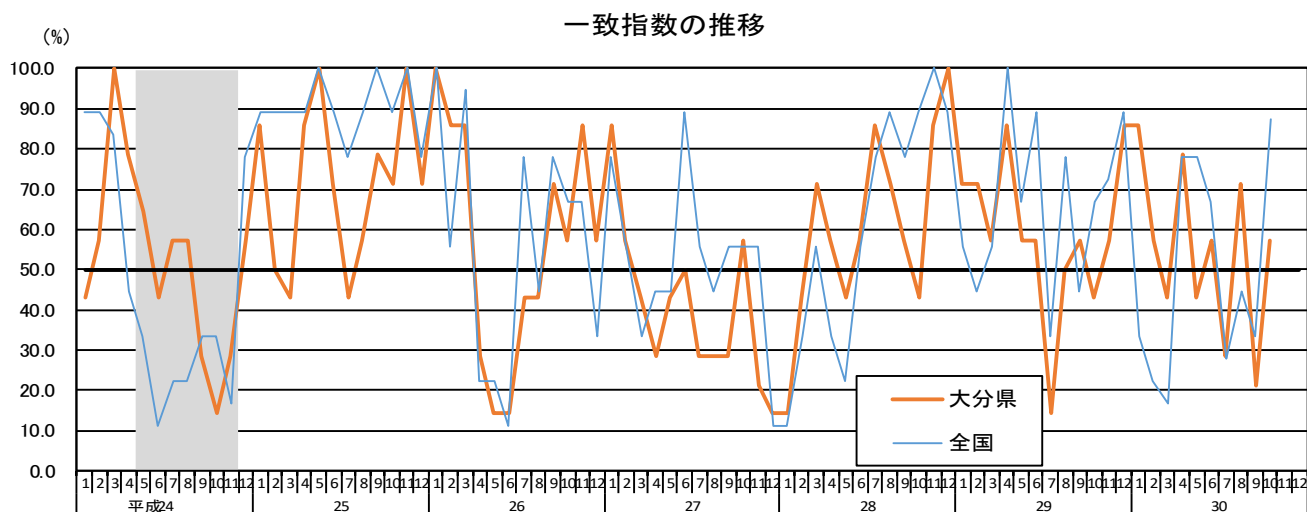
(全国の平成28年12月以前の数値は新季節指数により改訂されている。)

(全国の[]内数値は、補間推計値。)

(大分県の平成27年12月以前のモデル推計値はH28.5.31に遡及改訂されている。)

2-2 景気動向指数

平成30年10月分の大分県景気動向指数(DI)をみると、景気にほぼ一致して動く一致指数は57.1%となり、2か月ぶりに50%を上回った。また、景気に対し先行して動く先行指数は40.0%となり、4ヶ月連続して50%を下回った。他方、景気に対し遅れて動く遅行指数は57.1%となり、3か月連続して50%を上回った。



(注)シャドウ部分は景気後退期(内閣府経済社会総合研究所設定の景気基準日付による)を示す。

資料：内閣府経済社会総合研究所、県統計調査課

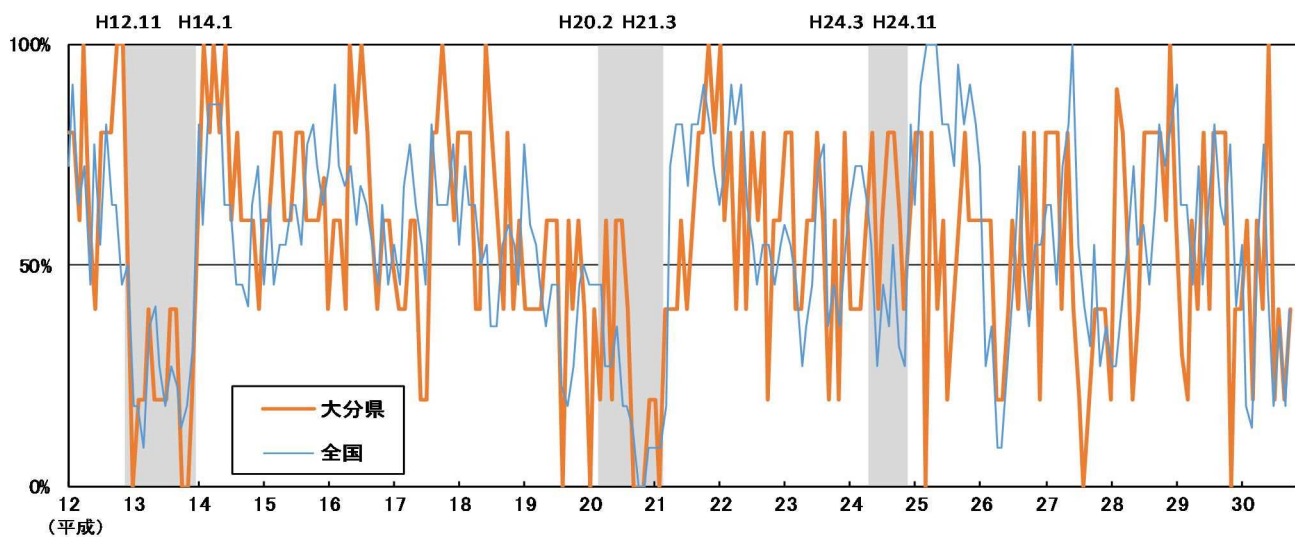
注1：指数が50%を上回る期間は「景気回復・拡大期」、50%を下回る期間は「景気後退期」とみる。

注2：シャドウ部分は景気後退期（内閣府経済社会総合研究所設定の景気基準日付による）を示す。

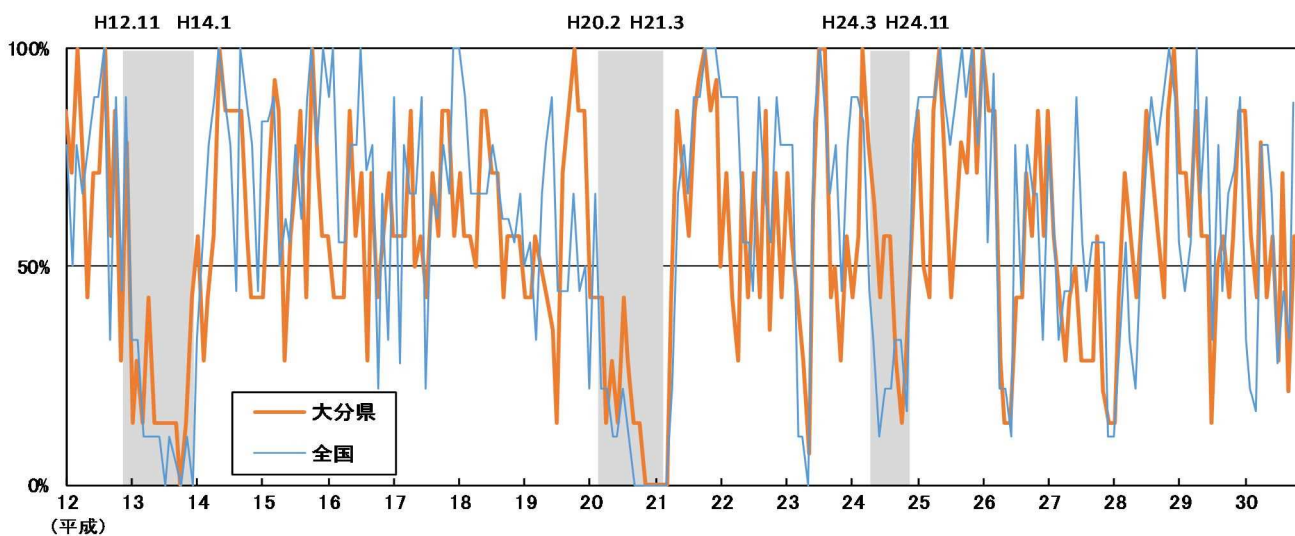
個別指標の動き（平成30年10月分）

プラスの指標	連続 月数	マイナスの指標	連続 月数
先行系列			
		01 新規求人数(新規学卒除きパートを含む)	2
		02 生産財生産指数	3
03 生産財在庫率(逆)	1		
04 着工建築物床面積	2		
		05 日経商品指数(42種)	4
一致系列			
		01 鉱工業生産指数	2
02 鉱工業出荷指数	1		
03 所定外労働時間(製造業・規模30人以上)	1		
		04 有効求人倍率	1
05 県内新車販売台数	1		
06 県内輸入額	2		
		07 雇用保険初回受給者数(逆)	2
遅行系列			
		01 有効求職者数(逆)(新規学卒除きパート含)	1
02 常用雇用指数(調査産業計・規模5人以上)	2		
03 資本財出荷指数	1		
		04 第3次産業活動指数 (派遣・リース業などの対事業所サービス)	1
05 大分市消費者物価指数(帰属家賃・生鮮)	4		
		06 家計消費支出(2人以上の世帯のうち勤労者世帯)	1
07 雇用保険受給者実人員(逆)	1		

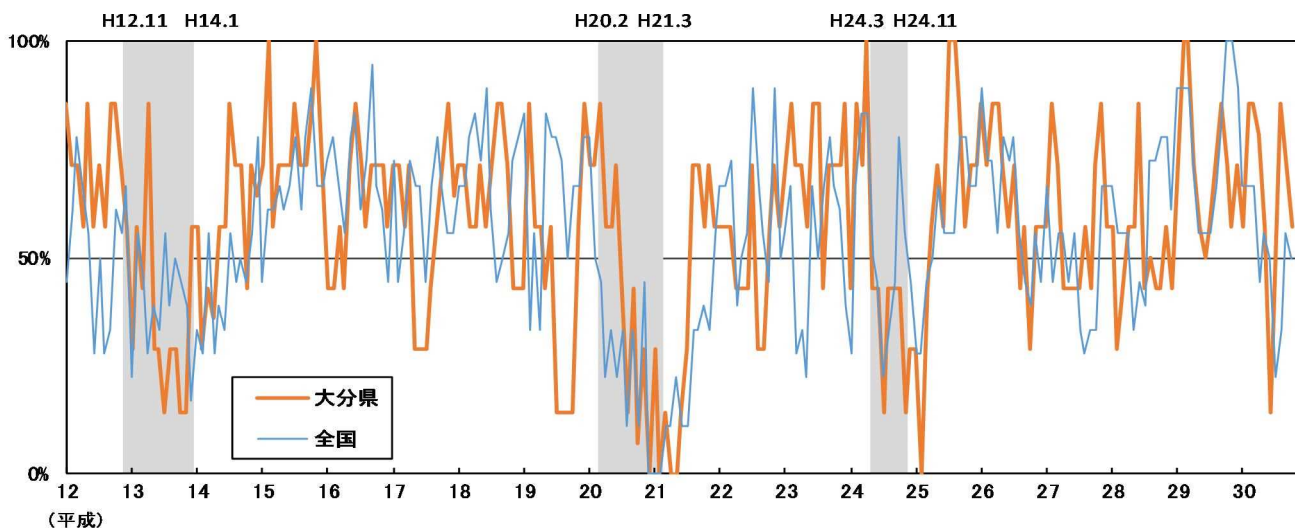
先行指数



一致指数



遅行指数



(注) シェドウ部分は景気後退期(内閣府経済社会総合研究所設定の景気基準日付による)を示す。

問合せ先

大分県大分市大手町3丁目1番1号（〒870-8501）

大分県企画振興部 統計調査課 統計企画班

電話：(097) 506-2462（直通）

FAX：(097) 506-1727

メール：a10800@pref.oita.lg.jp